

エポサーチ (管内障害点標定器)

永楽産業(株) 電設資材

特色

電線管・水道管・ガス管などの敷設位置の不明なものや管内にできた障害物の位置を建造物を破壊することなく外部より探知することが可能です

A. 信号発信機

小型携帯用で交直両用型です
3.2kg 230mmX110mmX155mm
1,000サイクル±10% の断続信号を発生
発振繰返し時間は 1秒±20% です
発生回路は標準出力 8Ω 3W 以上

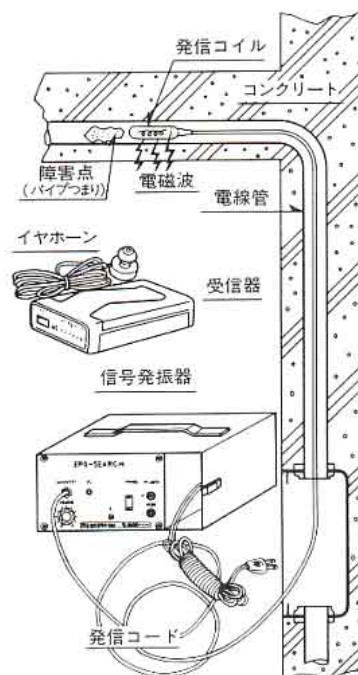
交流100V・200V自動切替型電源コード
直流電源12V端子(自動車バッテリーと接続)

B. 発信コード

弾性のある太さ6mmの丸型コード
長さは普通25m 特長型35m
先端に太さ10.5mmの発信コイルを装着します
もう一方の端のプラグを信号発信機に接続します

C. 受信機

小型、軽量で手のひらで握れます
イヤホンにコードを接続して使用します
中にサーチコイル 増幅回路 小型乾電池を収容



取扱い方法

100V又は200V(機内で自動的に切替わる)電源に信号発信機の電源コード①を差し込みます
交流電源のないときは直流12V自動車用バッテリーを利用してDC端子(DC INPUTの+と-)に接続できます

発信コードのプラグ②を信号発信機のジャック(OUTPUT" P")③に差し込みます
電源(Power)④をONに入れボリューム⑤を10の位置に合わせます

受信機⑥のスイッチを入れイヤホンを耳にします
受信機⑥をコード先端の発信コイル⑦へもっていき強い発信音があることを確認しておきます

不通箇所のあるパイプの最寄のボックスより発信コードの先端コイル⑦を差し込み 障害点に突き当たるまで押し込みます
コードが進まなくなったら プラグ②を信号発信機ジャック③に差し込み信号をおくります
受信機⑥でその場所を捜索してゆくと わずかな距離で強い発信音を聞き取れますので その中央部が発信コイル⑦の位置(障害物の位置)になります

樹脂配管の場合 鉄管に比べて電磁波の透過する量が大きく発信音の受信範囲が広がりますので 発信機のボリュームを徐々に左に回し(絞る)出力を小さくして音の範囲を狭く絞り位置決定をしてください



[ホームページ](#)